

＜ 地理歴史・公民 ＞科 学習シラバス

科目	地理総合	学年・類型	3年生 1型	単位数	3単位	教科書	高校生の地理総合（帝国書院）	
学習の到達目標		社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。						
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。		地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習活動における発問 ・課題レポート ・提出課題 ・小テスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習活動における発問 ・課題レポート ・提出課題 ・小テスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出課題の取り組み状況 ・課題レポート ・ノート提出 			
学期	月	単元名・小単元名	学習の指導内容			評価の観点		
						A	B	C
1 学 期	4	1部 地図や地理情報システムととらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀やさまざまな図法の地図から、現代世界の姿を読み取る。 ・地図と地理情報システム（GIS）の役割や有用性を理解する。 ・国家の領域と国境はどのように定められ、日本の位置と領域の特徴にはどのような特徴があるのかを理解する。 ・現代世界を表したさまざまな地図から、人やモノ、情報の結びつきを読み取る。 ・世界各地の特色ある生活文化について、その背景にある自然環境や社会環境に着目し、テーマごとに考察する。 ・世界各地にみられる地形は、人々の生活とどのように関わっているのかを理解する。 ・世界各地の気候の違いは、人々の生活にどのような影響を与えているのかを理解する。 ・産業の発展は人々の生活にどのような影響を与えてきたのかを理解する。 ・宗教・民族・言語は人々の生活にどのような影響を与えているのかを理解する。 ・日本の生活文化における世界との共通点や相違点に着目する。 ・東アジアの急速な経済発展は、人々の生活や文化にどのような変化をもたらしたのかを理解する。 ・受け継がれてきた伝統や宗教は、人々の生活や文化にどのように影響を与えてきたのかを理解する。 ・寒冷な気候での生活の工夫は、社会の変化とともにどのように変わってきているのかを理解する。 ・他地域との結びつきとその変化は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのかを理解する。 ・世界にはどのような地球規模の課題があり、課題どうしはどのように関わり合っているのかをSDGsの目標と照らして考える。 ・地域によって異なる人口問題に対し、どのような対策ができるのかを考える。 ・世界にはどのような食料問題があり、その解決のためにどのような取り組みが必要なのかを理解する。 ・世界にはどのような都市・居住問題があり、どのような取り組みが行われているのかを理解する。 ・広がりが増す感染症・衛生問題とどのように向き合う必要があるのかを理解する。 ・私たちは生活に欠かせない資源・エネルギーをどのように生み出し、利用していくべきなのかを考える。 ・地球環境問題を解決するためにはどのような取り組みが求められるのかを理解する。 ・日本の自然環境は、世界と比較するとどのような特徴があるのかを理解する。 ・地震・津波や火山活動による災害を防ぐためには、どのような取り組みが必要なのかを考える。 ・気象災害を防ぐために、どのような取り組みが必要なのかを考える。 ・自然災害に対して、私たちはどのように備えるべきかを考える。 ・生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 	○	○	○		
		1章 地図や地理情報システムと現代世界		○	○	○		
		1節 地球儀と地図		○	○	○		
		2節 地図と地理情報システム		○	○	○		
	5	2章 結びつきを深める現代世界		○	○	○		
		1節 現代世界の国家と領域		○	○	○		
		2節 地図から見る国内や国家間の結びつき		○	○	○		
6	2部 国際理解と国際協力	○	○	○				
	1章 生活文化の多様性と国際理解	○	○	○				
	序説 生活文化の多様性	○	○	○				
	1節 世界の地形と人々の生活	○	○	○				
7	2節 世界の気候と人々の生活	○	○	○				
	3節 世界の産業と人々の生活	○	○	○				
	4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	○	○	○				
2 学 期	8	5節 多様な生活文化と地理的環境	○	○	○			
		事例1 産業①経済発展による生活文化の変化－東アジア	○	○	○			
	9	事例6 宗教・歴史③伝統の継承と生活文化の関わり－ヨーロッパ	○	○	○			
		事例7 自然環境② 寒冷な気候と生活文化にみられる工夫－ロシア	○	○	○			
		事例10 結びつき②結びつきの変化がもたらす生活文化への影響－オセアニア	○	○	○			
		2章 地球的課題と国際協力	○	○	○			
		序説 複雑に絡み合う地球的課題	○	○	○			
		1節 人口問題	○	○	○			
	10	2節 食料問題	○	○	○			
		3節 都市・居住問題	○	○	○			
4節 感染症・衛生問題		○	○	○				
5節 資源・エネルギー問題		○	○	○				
11	6節 地球環境問題	○	○	○				
	3部 持続可能な地域づくりと私たち	○	○	○				
	1章 自然環境と防災	○	○	○				
12	1節 日本の自然環境	○	○	○				
	2節 地震・津波や火山活動による災害と防災	○	○	○				
	3節 気象災害と防災	○	○	○				
3 学 期	1	4節 自然災害への備え	○	○	○			
		2章 生活圏の調査と地域の展望	○	○	○			
			○	○	○			
	2		○	○	○			
	3		○	○	○			
学習のポイント		ノートやプリント等を確実にまとめる。自宅で、予習と復習を行い、学習内容の理解に努める。 授業内容を踏まえた小テストに取り組む。 返却されたテストやレポート、自己評価等の見直しを行う。						